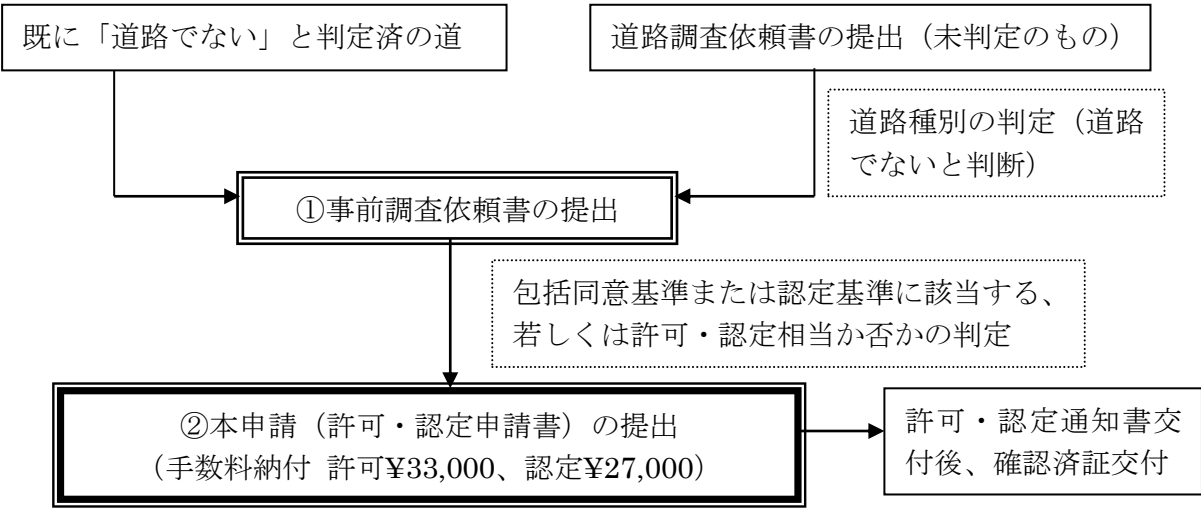


法 43 条第 2 項の規定による許可・認定申請の流れ



① 事前調査依頼書に必要な図書

- ・次の 1、2 を 1 部提出。
- 1.事前調査依頼書のかがみ
- 2.許可・認定申請書正本の写し一式（下記参照）

② 本申請（許可・認定申請書）に必要な図書

- ・次の図書一式（1～14）を正、副、各 1 部提出。
- ・個別同意案件については、審査会説明用資料も提出。

	図書名	注意事項
1	許可・認定申請書（第 1 面～第 3 面）	耐火・準耐火建築物の場合、3 面の 3.構造欄横に（準耐火建築物）等と記入のこと。
2	委任状	
3	理由書	日付を記入すること。また、市街化調整区域での建築においては都市計画法の許可要件等がわかるように書くこと。
4	1/2,500 の白地図	基準法上の道路を黄色、対象となる空地（道）を水色に塗り、申請地を朱線で囲むこと。
5	現況図（敷地からの道路までの空地の状況のわかる図面）	道路からの延長、現況幅員、現況形態（水路・側溝有無、法面の大きさ等）をできるだけ詳しく記入のこと。道が通り抜けている場合は、原則その範囲で書くこと。また、白地図同様に色付けすること。配置図との兼用は可。
6	配置図	排水経路も記入のこと。また、敷地境界を朱線で囲むこと。敷地断面図（2 面以上）
7	敷地求積図	
8	各階平面図	

9	建物求積図	
10	2 面以上の立面図	
11	2 面以上の断面図	
12	公図（国調図、字限図、換地図など）	申請地及び対象となる空地がすべて入る範囲を添付のこと。また、字限図は色を塗って添付のこと。
13	申請地の登記簿（注）	専用通路など敷地設定しているすべての範囲。
14	空地（道）の登記簿（注）	公図で道の部分に地番がある場合などにおいて、その道の所有者がわかるもの。対象となる空地のすべての範囲。
15	その他係員が指示したもの	

（注）原則、登記事項要約書で可。（但し、必要に応じ、登記簿を求めた場合は添付すること。）

建築審査会説明用資料（個別同意案件）

- ・上記 4・5・6・8・10（その他指示した図面）を **A3 又は A4 サイズ** で各々**15 部**ずつ提出のこと。
- ・4.5.6 については、申請書同様に色づけしておくこと。
- ・申請図書を A2 等で作成している場合は、縮小コピー（縮尺を合わせる）などして提出のこと。
- ・また、8.平面図・10.立面図については、出来るだけ A3 サイズ 1 枚に収めること。
- ・尚、各部は4.5.6.8.10 の順番にし、A4 サイズに折り、左肩をホッチキスでとめておくこと。

